

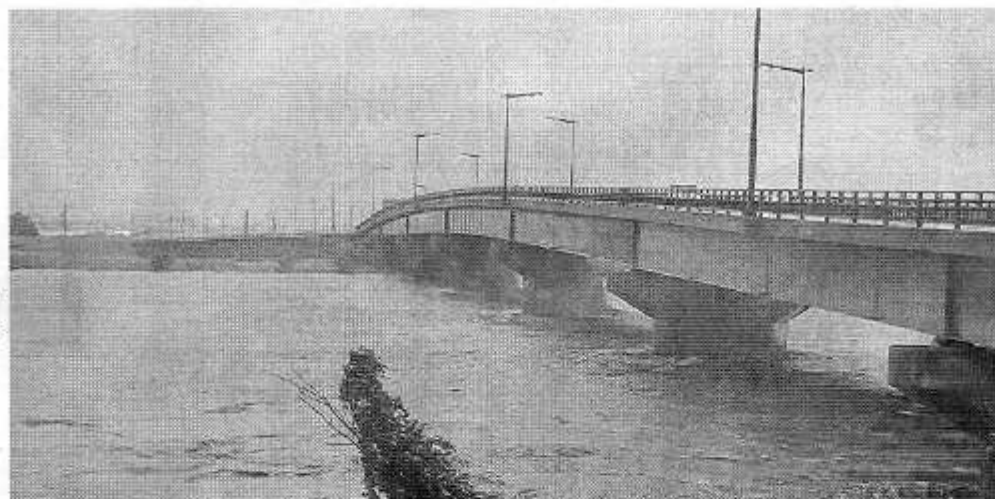
風11号 最大級の警戒

強い台風11号の接近に伴い、土砂災害や浸水、河川の氾らんなどに警戒を促す初の大雨特別警報が県内全域に出た九日、四日市市と鈴鹿市、亀山市、津市、紀宝町で避難指示が発令された。住民が学校や公民館などに続々と避難。道路の通行止めや交通機関の運休なども相次ぎ、県民生活に大きな影響が出た。

県内4市1町に避難指示



大雨の影響で冠水した道＝伊賀市三田で



濁流が橋げた近くに迫る雲出川＝津市の香良洲大橋北で

津・白山で観測最大406ミリ

気象庁によると、午後大となった。

十七世帯三千二百二十

八人。また、熊野市の住宅二十一棟が突風などで一部損壊の被害に遭っ

相次ぐ避難住民 災害へ募る危機

「逃げようがない」

避難指示や避難勧告、避難準備情報の発令に伴い、避難する住民が相次いだ。松阪市の雄野中学校の体育館には午後六時ごろ、二十二世帯三十六人が自主的に避難。同市雄野一志町の横手房子さん(五十)は「台風が過ぎるのは当分先。家が水につかるのではないかと心配でならな



避難所の体育館で不安そうな表情の住民ら＝津市の修成小で

い」と不安な表情を浮かべていた。

伊賀市大谷の前田教育会館にも午後六時ごろ、三十人が避難。近

くに住む女性(五十)は「これだけ雨がずっと土砂災害が心配。怖いし、逃げようがない」と表情を曇らせた。

県によると、午後七時半現在で熊野市や大台町、松阪市、大紀町など十四市町で百七十八世帯二百三十九人が避難。津市は午後八時十五分現在、五百四十七世帯千三百一人が避難していると発表した。

伊賀の市民集会開催下旬に延期

会場を変更して伊賀市のハイトピア伊賀で九日夕に開く予定だった「ためよう！ 集団的自衛権行使・伊賀市民集会」について、主催者の市民の会は急きよ八月下旬に延期し

きょうの天気

	6時	9時	12時	15時
四日市	曇	曇	曇	曇
津	曇	曇	曇	曇
伊賀	曇	曇	曇	曇
伊勢	曇	曇	曇	曇

日本列島を縦断した台風11号は九日か町の六十代と八十代の女性二人が強風にさらされて、県内各地に浸水や道路の崩落などの被害を招き、市民生活に大きな影響を及ぼした。熊野市と東員十七棟に被害が出た。また旅館の臨時休業などもあった。

県内 6人重軽傷

台風禍 生活に打撃

老舗旅館が一部浸水 津、臨時休業

津市榊原町の老舗旅館「湯元榊原館」で「楽しみにしていたお客さまに申し訳ない」。前田幹弘社長は、旅館の裏を流れる榊原川の氾濫で露天風呂や大浴場の一部が浸水。十日は臨時休業。従業員らが復旧作業を入れた。「お盆の



(右側)の氾濫で浸水した館内を片付けた従業員ら＝津市榊原町の湯元榊原館で

かき入れ時なので、正直参りました。九日午後三時半ごろ、旅館の用水路などに川の水があふれ出て館内に流れ込んだ。従業員らが宿泊客を二階のロビーに誘導して人への被害はなかったが、一階に四つある大浴場と露天風呂、厨房や宴会場兼客室の計五室がいずれも三十センチほど床上浸水した。

JR名松線はあす運行再開。JR東海は十一日、台風11号で線路の地盤が流失し、運転を見合わせた名松線の松阪(松阪市)―家城(津市)間を、十三日の始発から運行すると発表した。二〇〇九年の台風被害以来、運行している家城―伊勢奥津駅間の代行バスは、十二日から再開する。

台風11号の被害を受け、百五銀行(津市)と三重銀行(四日市市)は十一日、被災した個人や事業者を対象に、乗用車の買い替えや住宅の修繕などのためのローン商品の取り扱いを始めた。申し込みは、三重銀行が十月三十一日まで、百五銀行は二〇一五年二月十七日まで。

県内3金融機関で支援融資

通常のローン商品より金利を0.9～1.925%優遇する。問い合わせは百五銀行は各営業店、三重銀行は本店審査部(電話059-354)7130へ。また県内のJAバンクでは、緊急生活資金(三百万円以内、金利1%)などの災害対策資金を用意した。

竜巻の可能性も 「特定に至らず」

2市町の突風

津地方気象台は十一日、突風で住宅などに被害が出た熊野市と御浜町を現地調査し、「竜巻の可能性はあるものの、特定には至らなかった」とする調査結果を発表した。調査官ら四人が被害模様は、強さを段階分け

ごろ発生。熊野市有馬町の海沿いの国道42号付近から北西の住宅地まで、約二キロに及ぶ計二十二戸で瓦や物置が吹き飛ばなどの被害が出た。

特別警報は、九日午後五時二十分に県内の全二十九市町のうち二十市町に発令。午後六時一分に六市町、残る二町は午後七時四十二分に発令された。

台風11号による豪雨で、気象庁が県全域に発令した大雨特別警報。自治体は住民に周知する義務を負うが、全国瞬時警報システム(Jアラート)の故障や「住民の混乱を防ぐ」としてすぐに知らせないなど、市町により伝達までの時間



佐藤 嘉児 容疑者 四日市北署で送検された

特別警報周知 市町で時間差

住民に周知す付けれられてい本紙が県内有無を尋ねたんだがJアラたシステムで線などで伝達台町ではJアせず遅れた。県内で最も町は、「雨がたのでかえく」と町が判七十五分後にた。町の担当ほど前から雨っており、ただ険がないと考明。発令前に線で警戒と自

別警報発令後の各市町の対応

知の無	周知までの時間	伝達方法
○	直後	防災無線、災害情報メール
○	10分後	防災メール
○	直後	HP
○	直後	防災無線、防災メール
○	13分後	災害時緊急メール
○	直後	防災無線、防災メール
○	直後	防災無線、防災メール、エリアワンセグ
○	直後	ケーブルテレビ、エリアメール、安心メール
○	直後	防災無線、防災メール
○	直後	防災無線
○	直後	HP
○	直後	防災無線
○	直後	防災無線、防災メール
○	直後	防災無線
○	直後	防災無線

三重県民 3分の1に指示も…

実際の避難者 3700人
57万人中

台風11号で初の大雨特別警報が発令された三重県では、県民の三分の一に当たる五十七万人に避難指示が出たが、実際の避難者は、指示が出た六市町で三千七百人にとどまった。対象者数が膨れあがったのは、四日市市と鈴鹿市が市内全域に避難指示を出したため。市側は「命を守る行動を取ってもらうため」と説明するが、市民からは「避難指示の意味が軽くなる」と疑問の声も出ている。

鈴鹿市で全市民二十万人に。避難指示が出ていた九日夜。猛烈な雨が降り注いでいたが、ミシン販売店経営の早崎栄太郎さん(六三)は避難しようと思わなかった。「特別警報が発令されたから、市は安直に避難指示を出したんだらう」と真に受けなかったから

だ。小学校などの避難所に避難した人は計二百七十四人で対象の0・1%。そもそも、市が開設した避難所の収容人数は人口の一割に満たない一万八千人だ。内閣府のガイドラインでは、避難指示などの判断基準

には、土砂災害警戒情報の有無など一定の指標はあるが、最終的には市町村の判断。三重県では両市のほかに津市など四市町が避難指示を出したが、それぞれ川沿いなど対象地域を限定していた。

「どこでどんな災害が起こるのか分からず、地域を限定するのは難しかった」と、竹嶋昇・鈴鹿市防災危機管理課長。「全市民が避難所に来ることは想定しておらず、自宅の二階などに避難する意味も含め指示を出した」と説明する。

全三十一万二千人に避難指示が出た四日市市も、実際の避難者は四百九十五人。市内のけが人は、避難所開設準備中に足を切った市職員一人に

とどまり、避難指示が注意喚起につながったとの見方もできる。

だが、市内で自治会長を務める行政書士の稲垣正文さん(六三)は「指示に従わなくても大丈夫だと思っ人が増え、万一の時に逃げ遅れるのでは」と心配する。

内閣府の防災担当者は「空振りを恐れて出さないのはダメだが、乱発されれば避難指示の重みが薄れるのは事実。シレンマがある」。対象区域などにばらつきが出たことに、三重県の鈴木英敏知事は「避難指示の出し方や情報提供の仕方、住民の避難行動を含めて今回の対応を市町とともに検証したい」と述べた。

見過ごし許されぬ風潮

群馬大学大学院の片田敏孝教授(災害社会学)の話。結果的に被害が少ない「空振り」はいいが、「見過ごし」は許されない風潮があり、昨年導入された特別警報も自治体に積極的対応を促している。ただ、同じ地域でも高層マンションもあれば木造平屋もある。災害情報の高度化に伴い、住民が行政の指示に依存する傾向が強まっているが、最近の異常気象で被害予測が難しくなっている面もある。自分の身は自分で守るという原点に立ち返り、マンション高層階ならあえてとどまるなど、それぞれが適切な避難行動を取るよう住民側も意識を変えていく必要がある。